Operation Guide 3090

CASIO

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

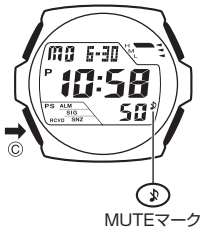
Ⓒ ボタンを約３秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※Ⓒボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

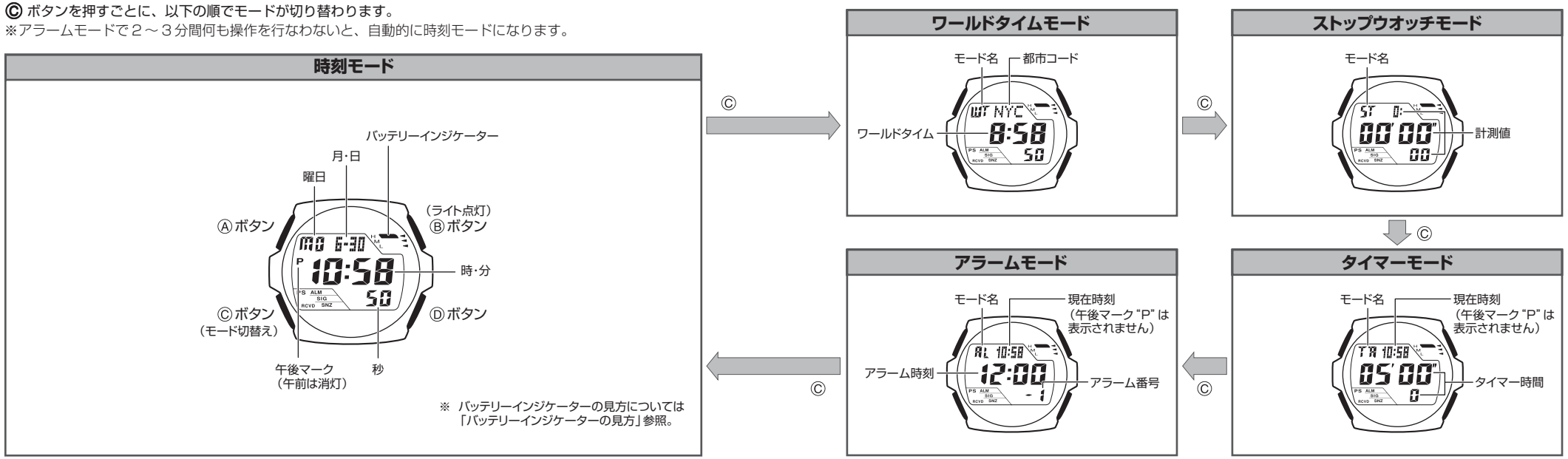
※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

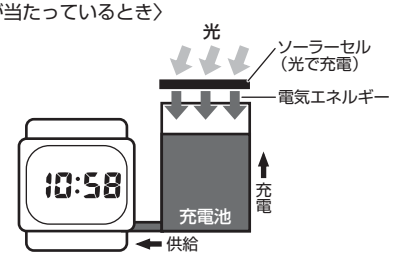


十分に光を当ててご使用ください

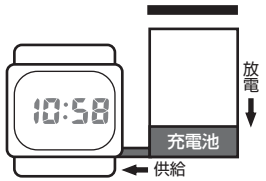
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

●光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



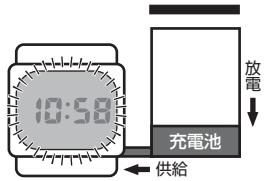
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電池の容量が減って機能が使えなくなります。

●ライト（表示用照明）をたくさん使うと

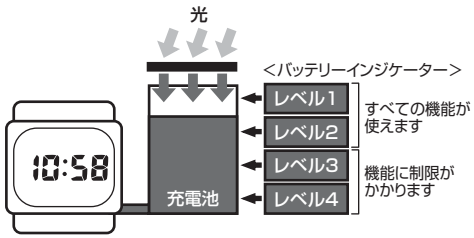
ライトを多用すると充電池の容量は早く減ります。



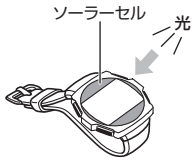
オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

●時計に光が当たるようにしましょう

- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル３になると機能に制限がかかりますので、レベル１、レベル２を保つように光を当ててください。

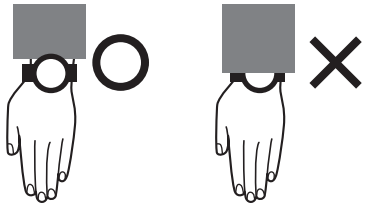


- 腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、暗いときに時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すと約 1.5 秒間ライトが点灯します。



※オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

本機のオートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが点灯する便利なフルオートライト機能です。
※明るいときは、自動点灯しません。

準備：セット中（表示点滅）以外の時刻モードのとき、Ⓑボタンを約３秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑボタンを約３秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 手動受信中は、ライトは点灯しません。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約 1.5 秒間のみとなります。
- 二次電池の残量がレベル4の状態になると、自動的にオートライト OFF になります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル5)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバー状態について

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、バッテリーインジケーターが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ報音
- 電波受信

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●バッテリーインジケーターの見方

レベル1		すべての機能が使用可能
レベル2		すべての機能が使用可能
レベル3		EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可、電波受信不可
レベル4	CHG	液晶表示不可、EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可、電波受信不可
レベル5		時計機能停止(時計発振不可)

※時刻モードのときにレベル3になると、“LOW”と点滅表示します。
※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル5になっても再度充電を行なうことで使用できます。
※レベル5から充電したときは、レベル4になると表示が点灯しますので、時刻・カレンダーを合わせてください。ただし、この状態ではその他の機能が使用できませんので、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作*に加え、下記の使用例で使用した場合に約8ヵ月動き続けます。

使用例
- ライト：1.5秒間／日
- アラーム：10秒／日
- 電波受信：10分／日
- 表示点灯：18時間／日

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

* 基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

〈1日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約5分
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約24分
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境(照度)	充電時間 レベル5➡レベル4➡レベル3	レベル3➡レベル2	レベル2➡レベル1
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約2時間	約44時間	約12時間
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約6時間	約167時間	約46時間
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約11時間	約270時間	約75時間
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	約127時間	–––	–––

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

●充電必要サイン

レベル3や4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。
また、頻繁にリカバーマークが点灯する場合も電池残量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

●充電時のご注意

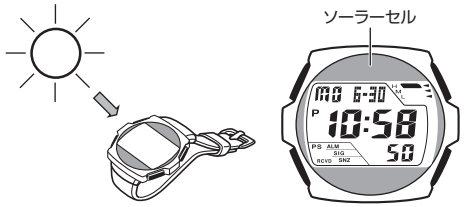
以下のような高温下での充電はお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。



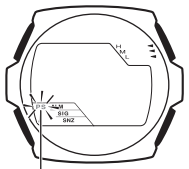
※イラストは樹脂バンドの場合です。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。
本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。
※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

- 表示スリープ
  午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。
  ➡液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
  アラーム・時報の報音は行ないます。
  ※ ストップウオッチモード、タイマーモードのときは、スリープ状態になりません。



- 機能スリープ
  表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。
  ➡パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。
  アラーム・時報の報音は行ないません。
  電波の自動受信は行ないません。
  ※ 時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト(「ライトを点灯させる」参照)のように傾けたりします。
※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大2秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「セットのしかた」をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

- 日本の標準電波（JJY）は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。
- アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州にあるフォートコリンズから送信されています。
- イギリスの標準電波（MSF）はNational Physical Laboratory（NPL）が運用しており、ロンドン北西に位置するラグビーから送信されています。
- ドイツの標準電波（DCF77）はPhysikalisch-Technische Bundesanstalt（PTB）が運用しており、フランクフルト南東に位置するマインフリンゲンから送信されています。

※標準電波や送信所に関する情報は、変更になる場合があります。

日本の正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループが運用しております。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。
詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループのホームページをご覧ください。

http://jjy.nict.go.jp

※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

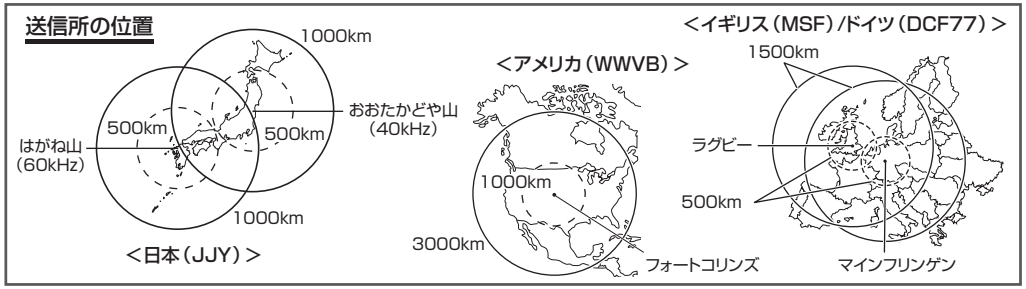
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると、その都市に対応した標準電波を受信します。

* ホームタイム都市の設定については「セットのしかた」参照。都市コードについては「都市コード一覧」参照。

ホームタイム都市（受信機能対応都市）	受信電波
TYO、SEL、TPE、BJS、HKG	日本の標準電波（JJY）
HNL、ANC、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYT	アメリカの標準電波（WWVB）
LIS、LON、MAD、PAR、ROM、BER、STO、ATH、MOW	イギリスの標準電波（MSF）、ドイツの標準電波（DCF77）

※BJS、HKG、HNL、ANC、MOWの各都市は、受信機能対応都市としています。条件が良ければ受信する場合もあります。



- 受信環境により、図の範囲内でも電波を受信できない場合があります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、受信環境の影響はより大きくなります。
  ※受信に影響を与える環境・・・地形、建物、天気、季節、時間帯（昼・夜）、各種ノイズ

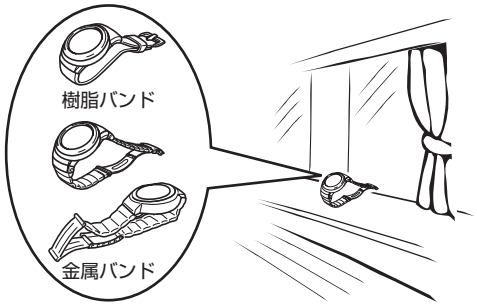
■ 受信時間について

受信時間はおよそ１～７分です。

※ただし、周波数を変えて再受信するため、最大13分かかる場合があります。

■ 電波受信を行なうときの場所について

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。

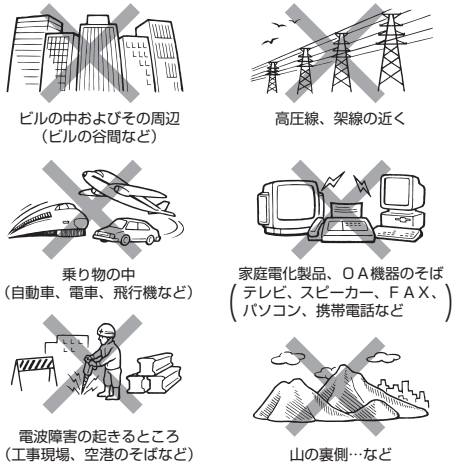


- 時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
- 受信中、時計を動かさないようにしてください。

●ご注意

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。

- ●自動受信：１日最大６回
- ●手動受信：必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます

■ 自動受信

- 下記の表中の各都市を、ホームタイム都市に設定（「セットのしかた」参照）しているときは、自動受信を行ないます。ただし、BJS、HKG、HNL、ANC、MOWの各都市の自動受信の設定は、工場出荷時には OFF になっています。
  * 自動受信 ON／OFF の設定については「自動受信 ON／OFF の設定」を参照。
- 時刻モードの時刻（「操作のしくみと表示の見方」参照）が下記の表中の自動受信開始時刻になると、1日最大6回、自動的に受信を行ないます。
  ただし、１日１回受信が成功すれば、それ以降、その日の自動受信は行ないません。
  また、自動受信開始時刻は、設定したホームタイム都市やサマータイム設定によって異なります。

ホームタイム都市		自動受信開始時刻					
		1	2	3	4	5	6
TYO、SEL、TPE、BJS、HKG	通常時刻	午前12時	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
HNL、ANC、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYT	通常時刻	午前12時	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時
	サマータイム						
LIS、LON	通常時刻	午前1時	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時
	サマータイム	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
MAD、PAR、ROM、BER、STO	通常時刻	午前2時	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時
	サマータイム	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
ATH	通常時刻	午前3時	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時
	サマータイム	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時	翌日午前3時
MOW	通常時刻	午前4時	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時	翌日午前3時
	サマータイム	午前5時	翌日午前12時	翌日午前1時	翌日午前2時	翌日午前3時	午前4時

★受信が成功すると
成功した時点で受信を終了し、時刻モードに戻って修正した時刻を表示します。
※RCVD マークが点灯します。



★受信が失敗すると
時刻修正は行なわずに、時刻モードの表示に戻ります。

■手動受信

- 必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます。受信に適した場所や環境（「電波受信を行なうときの場所について」参照）で行なってください。
また、受信中は時計を動かさないでください。

時刻モードのとき

Ⓓボタンを約2秒間押し続けます

➡“RC!”が表示され、受信を開始します。
※受信中は、受信状態のレベルを表示（「受信中の状況表示（レベル表示）について」参照）します。



★受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※手動受信中は Ⓓ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると
成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、修正日時を表示します。
※修正日時表示後は、Ⓓ ボタンを押すか、2～3分間放置すると時刻モードの表示に戻ります。
※RCVD マークが点灯します。

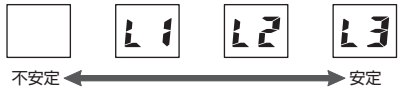


★受信が失敗すると（ERR 表示）
時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。
※“ERR”表示後は、Ⓓ ボタンを押すか、2～3分間放置すると時刻モードの表示に戻ります。
※その日に一度でも受信に成功している場合は、RCVD マークが点灯したままになります。

■受信中の状況表示(レベル表示)について

受信中は受信状態によってレベル表示が変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

- ●受信状態のレベル表示は、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
- ●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

■受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します



➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※一度も受信に成功しなかったときは、“- - : - -”を表示します。
※時刻モードに戻すには、もう一度 Ⓓ ボタンを押します。
※2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

■自動受信 ON／OFF の設定

自動受信をOFFにすると、電波の自動受信をさせなくすることができます。
※ホームタイム都市を受信機能対応都市に設定している場合に、自動受信ON／OFFの設定を行なうことができます。
* 受信機能対応都市については、「電波の受信範囲の目安」参照。

1. 受信日時を表示させる

時刻モードのとき

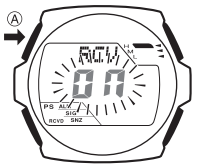
Ⓓ ボタンを押します



➡受信日時を表示します。
※2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

2. セット状態にする

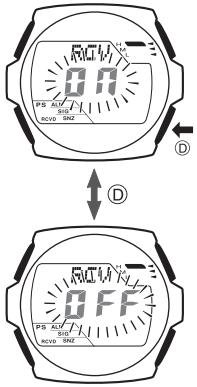
Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます



➡ON または OFF が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. セットする

Ⓓ ボタンを押します



➡ON と OFF が切り替わります。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



➡点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。
※ 時刻モードに戻すには、Ⓓ ボタンを押します。

★自動受信を ON にすると…

- ● ホームタイム都市がTYO、SEL、TPE、BJS、HKGの場合
自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。
※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
- ●ホームタイム都市が HNL、ANC、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYT の場合
自動受信は ONになり、アメリカのフォートコリンズからの電波を受信します。
- ●ホームタイム都市が LIS、LON、MAD、PAR、ROM、BER、STO、ATH、MOW の場合
自動受信は ONになり、イギリスのラグビーとドイツのマインフリンゲンからの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。
※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。

●以下のときは、電波受信を行ないません。
・タイマー計測中のとき。
・バッテリーレベルがレベル3または4のとき。
・リカバー状態のとき。

●自動受信中にボタン操作を行なうと、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本、アメリカ、イギリス、ドイツで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。

●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

1. 電波が受信できないのですが？

●電波の送信が中断していませんか。
電波時計が利用している標準電波は、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。

●電波が受信できない地域にいませんか。
電波受信ができる地域は、「電波の受信範囲の目安」をご覧ください。

●電波受信環境が悪い場所にいませんか。
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行なってください（「電波受信を行なうときの場所について」参照）。

●ホームタイム都市が間違って設定されていませんか。
ホームタイム都市の設定が「電波の受信範囲の目安」に記載されている都市以外の場合は、電波受信を行ないません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

●自動受信設定がOFFになっていませんか。
「自動受信ON／OFFの設定」をご覧になり、自動受信設定をONに設定してください。

●タイマーが計測中になっていませんか。
タイマー計測中は電波受信を行ないません。計測をストップするには、タイマーモードのときにⒹボタンを押します。

●自動受信を行なう時間帯（「自動受信」参照）に、時刻モードまたはワールドタイムモード以外になっていませんでしたか。
自動受信は時刻モードまたはワールドタイムモードでしか行なわれませんので、自動受信時間帯は他のモードに切り替えないでください。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれるのですが？

●電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないますが、時計内部の演算処理等により若干（1秒未満）のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がちょうど1時間進んでいるのですが？

●サマータイムの設定がONになっていませんか。「セットのしかた」をご覧になり、サマータイムの設定をOFFまたはAUTOにしてください。

4. 電波を受信したのに、時刻がくるっているのですが？

●ホームタイム都市が間違って設定されていませんか。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

5. 自動受信ON／OFFの設定ができないのですが？

●ホームタイム都市の設定が「電波の受信範囲の目安」に記載されている都市以外の場合は、自動受信ON／OFFの設定を行なうことができません。「セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

6. 自動受信は何時頃行なわれるのですか？

●自動受信は電波状況の良い夜間に行なわれます。夜間にお休みのときは、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください（「電波受信を行なうときの場所について」参照）。

7. 手動受信のしかたは？

●時刻モードのときにⒹボタン（右下）を約2秒間押し続けます。"RC!"が表示され手動受信が開始されますので、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

8. 受信日時の確認のしかたは？

●時刻モードのときにⒹボタン（右下）を1回押します。電波受信が成功し、時刻修正された月日と時分が表示されます。時刻モードに戻すには、もう一度Ⓓボタンを1回押します。

★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	0A	自動受信する
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AT	電波受信による自動切替え

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムは、基本時刻との時差にしたがい他の都市の時刻が自動的にセットされます。
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
* セットについては「セットのしかた」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。
※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます



➡Ⓐボタンを約2秒間押し続けるごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	STO	+1	ストックホルム
HNL	−10	ホノルル	ATH	+2	アテネ
ANC	−9	アンカレジ	CAI	+2	カイロ
YVR	−8	バンクーバー	JRS	+2	エルサレム
LAX	−8	ロサンゼルス	MOW	+3	モスクワ
YEA	−7	エドモントン	JED	+3	ジェッダ
DEN	−7	デンバー	THR	+3.5	テヘラン
MEX	−6	メキシコシティ	DXB	+4	ドバイ
YWG	−6	ウィニペグ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	DEL	+5.5	デリー
YTO	−5	トロント	DAC	+6	ダッカ
NYC	−5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	−4	カラカス	BKK	+7	バンコク
YHZ	−4	ハリファックス	HKG	+8	香港
YYT	−3.5	セントジョンズ	BJS	+8	北京
RIO	−3	リオデジャネイロ	TPE	+8	台北
RAI	−1	プライア	SEL	+9	ソウル
LIS	+0	リスボン	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	ADL	+9.5	アデレード
MAD	+1	マドリード	GUM	+10	グアム
PAR	+1	パリ	SYD	+10	シドニー
ROM	+1	ローマ	NOU	+11	ヌーメア
BER	+1	ベルリン	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2006年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

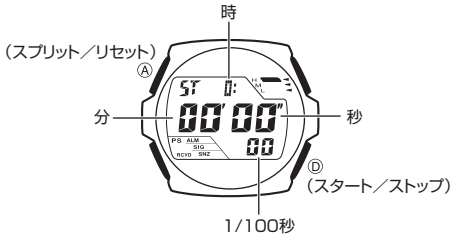
ストップウオッチは1/100秒単位で999時間59分59秒99（1000時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
また、スタートの5秒前からカウントダウンを開始するオートスタート機能もあります。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ⒹボタンをⓇすごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク“SPL”点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

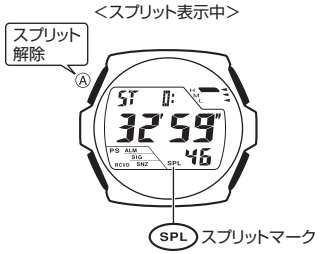
●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

■オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

●オートスタート表示にするには

計測リセット状態のとき

Ⓐ ボタンを押します



➡Ⓐ ボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。
※オートスタート表示にすると、カウントダウン秒数が表示されます。

●オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき

Ⓓ ボタンを押します

➡5秒前からのカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。
※カウントダウンを中止して、すぐに計測をスタートするときは、Ⓓ ボタンを押します。
※計測開始後は、通常のストップウオッチのボタン操作と同様になります。
※計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます



➡「分」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。

※ 1分単位で60分(60'00")までセットできます。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

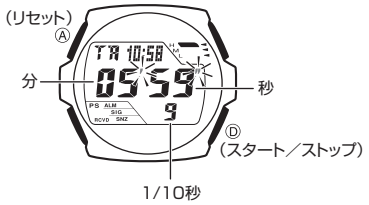
➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は 1/10 秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（タイマー時間にリセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードに切り替えます。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム（アラーム 1 ～アラーム 5）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（アラーム 1 のみ）

スヌーズ機能を ON にすると、設定した時刻に 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。なお、スヌーズアラームのときは、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●時報

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

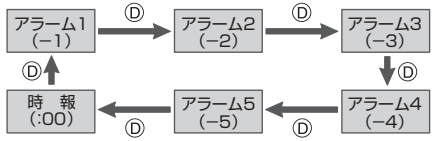
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯し、自動的にアラーム ON になります。

※ アラーム 1 で、スヌーズ機能が ON になっているときにセット状態にすると、自動的にスヌーズ機能は OFF になります。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

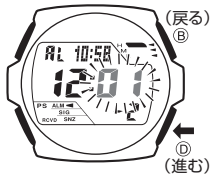
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。



※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

手順 *3.* と *4.* の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■ アラーム・時報のON／OFF 設定

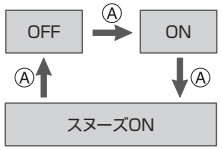
準備：Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームまたは時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、以下のようにアラーム・時報のON／OFFが切り替わります。

※それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

●アラーム 1



<アラーム表示>





●アラーム 2～5、時報



<時報表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラーム機能中のときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズ中はスヌーズONマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- ●アラームモードでアラーム 1 をOFFにしたり、通常のアラームに切り替えたとき。
- ●アラームモードでアラーム1をセット状態にしたとき。
- ●時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードでⒹ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

※パワーセービング機能のON／OFF設定も以下の操作で行ないます。

■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます

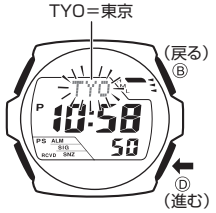


➡都市コードが点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓまたは Ⓑボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

＊「都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します



➡サマータイムの切替えになります。

4. サマータイムを設定する

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。

●AT（AUTO） 電波受信により、自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。
●OFF サマータイムは OFF になります（通常時間）。
●ON サマータイムは ON になります（夏時間）。 ※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

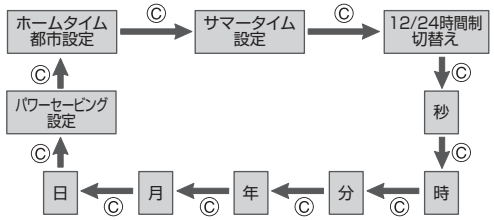
※ホームタイム都市が受信機能対応都市（「電波の受信範囲の目安」参照）以外のときは、「OFF」⇔「ON」で表示が切り替わります。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。設定したい箇所を点滅させます。



6. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替え」のときは…

Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



b.「秒」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

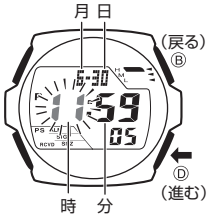
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)



c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓまたは Ⓑボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

d.「パワーセービング設定」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能を ON にすると、セット完了後、パワーセービングマークが点灯します。



7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。